

## 平成30年度 栃木県校友会定時総会

平成30年度栃木県校友会定時総会が令和元年6月30日（日）午後1時30分より、宇都宮市「ホテルニューイタヤ」にて開催された。

司会は柴田征紀県校友会専務理事（86回）、開会の挨拶を安西未央子県校友会副会長（68回）がされた。物故者に対する黙祷の後で恒例の校歌斉唱があった。続いて佐川徹三県校友会会長（68回）から東京・新潟をつなぐ会が10回目を迎えたこと、美味しいものを味わいながら各地区の校友の親睦を図る美酒美味探求の会が20回目を迎えたこと、小林幹夫栃木県議会議員（67回）の5期目の当選御礼、遠隔画像診断システムの更なる活用を望むこと、参議院選挙の職域代表の必要性について等を含めた挨拶があった。

次に来賓の近藤勝洪校友会会長に挨拶をいただいた。その内容のご子弟にぜひ母校を受験するよう紹介いただきたいということ、技工学科が就職率が高いにもかかわらず定員割れし憂慮しているので技工士課程にも興味がある知り合いがいれば、紹介したいとのこと、共済金や功労金の見直しを行ったが災害の時や死亡共済金は必要なもので、減額は行いが存続するために止むを得ない判断だったというこ



平成30年度 栃木県校友会定時総会 令和元年6月30日  
於 ホテルニューイタヤ

と。国試浪人の問題、小説・中原市五郎『駒山の鷹』の紹介などであった。若菜弁三会員（推）の百寿の祝い、八板 誠 会員（47回）の米寿の表彰と記念品贈呈の後、新入会員が5名あったとの報告があり、川俣純子那須烏山市長（74回）からは職域代表議員が必要だとの挨拶をいただいた。

続いて議事に移った。遅澤弘明議長（67回）、清水 力 副議長（72回）の仕切りで会務報告がなされた後、小野川康彦県校友会会計理事（86回）からの決算報告を受け田代高志県校友会監事（72回）から監査報告があり、決算、事業計画、予算案、役員改選などの議案はつつがなく承認された。引き続き会長に選任された佐川会長から「皆様の協力を願います」との就任の挨拶があり、閉会の挨拶を臼井正人県校友会副会長（73回）が述べた後、研修会になった。

研修会座長の半田 功 県校友会副会長（78回）から、研修会特別講演の講師、新谷明一生命歯学部歯科補綴学第2講座准教授（88回）の紹介があった。

演題は「CAD/CAM 補綴との付き合い方」で、講演内容の前半は概念的にCAD/CAMの潮流を話され、その中で近い将来保険に前歯部CAD/CAM冠が入るだろうという見解や口腔内スキャナーが近く保険導入されるだろうということなどを教えてくださった。

コーヒープレイクを挟み、後半はより臨床に則した内容になり、ここでしか話せない接着関連のことなどを教えていただき大変参考になった。

講演終了後、会場を階上のオーロラに移し、宮下 均 県歯会会長を迎えて懇親会が開かれた。毎度の和気藹々の会は大川 新 県校友会監事（62回）の中締めでお開きとなった。

（前橋 潮・75回記）